

# SDGsの11番目の目標

「**住み続けられるまちづくりを**」するには

蛭田 莉那

〈きっかけ〉

**温暖化**が進んでどんどん住みづらい場所が増えているから

〈住みにくい場所〉

・砂漠⇒水がほぼ0だから  
・人間などが必要とする水が不十分だから  
・昼と夜の気温差が激しいから

〈改善点〉

①水 ②植物(木)

この二つを解決すれば、住みやすくなるはず

〈住みやすくする方法〉

① **海水淡水化装置**を使う

↓ コストが高いのが欠点

この技術の世界で一番使っているのが、サウジアラビア!!

この国で技術やノウハウを習得し、技術者が増えれば、コストダウンになるかも?

② 砂漠緑化をする (例: 高吸水性高分子)

(吸水性ポリマ)で保水性を高める  
毛細管現象で塩害が起こらないように、  
客土をして排水性を高める  
乾燥ストレス耐性(多肉植物等)や

塩ストレス耐性**が強い植物**やそれを強化した遺伝子組み換え植物を植える  
砂漠の固有生態系に害がある可能性がある

①と②にはそれぞれ難しい課題があるな...



〈課題の解決方法〉

① 世界中で募金してもらう。



募金だけでなくクラウドファンディングなどを利用して直接装置を買うのでは、技術者育成の資金にする

② 固有生態系に害にのまない乾燥と塩に強い植物を植える

〈まとめ〉 植物も人も時間と手間をかけて育て、長期的な計画でやらなきゃいけない問題だと思った。

でも資金や技術者の数が増えれば、その時間も短くなり、近い未来には、

砂漠は少なくなると思う。

